

・・・ご挨拶とデフリンピックと・・・

令和7年度の久小校区住民自治協議会会長職を、前期に引き続き務めさせていただきます。

これからも皆様と共に久小校区地域の発展と安心安全な生活環境を守っていきたいと思っております。

新たな事業は総会後になりますが、宜しくお願い致します。

本年、国として大きなイベントにデフリンピックがあります。

手話に興味を持つ者として、デフリンピックについて少々記載したいと思います。

デフリンピックとは、デフ+オリンピックの事でデフ（Deaf）は英語で「耳が聞こえない」を意味し、「聞こえない・聞こえにくい人のためのオリンピック」で国際ろう者スポーツ委員会が主催し、4年毎に開催されるデフアスリートを対象にした国際スポーツ大会です。

東京2025夏季デフリンピック競技大会は日本で初めての開催で、2025年11月15日から11月26日まで東京で開催されます。第1回デフリンピックは1924年にパリが開催されましたから100周年となる大会です。

オリンピックと同じように4年に一度開催され、夏季大会と冬季大会があります。

ルールはオリンピックとほぼ同じですが、デフリンピックでは、「耳」が聞こえなくても、参加者が不利にならないよう「視覚」でわかる様々な工夫がされています。

目でおぎなうことを「視覚保障」と言います。

例えば、100メートル競走のスタートの出発音。ピストルの音が聞こえませんが、代わりに光がピカッと光る『フラッシュランプ』でスタートを知らせます。『フラッシュランプ』は、バスケットボールやハンドボールなどの試合の開始や終了など、様々なスポーツの様々な場面でも活用されています。聴覚障がい者は、外見上からは耳が聞こえない/聴きにくい人だとは分かりませんがスポーツをするうえで、聞こえる人にくらべて不利な点があることは、ご理解頂けると思います。

不利な点は、主に以下の2つと云われています。

1つはバランスが取りにくいこと。耳の構造体には「体のバランスを取る」という大切な機能がありますがこの欠落があること。

2つ目は、情報量が少なくなること。例えば、チームゲームで聞こえる人は相手に「パスするよ」「ここにパスをちょうだい」など、動きの中で声でコミュニケーションを取って、聞きながら行動出来ますが、聞こえない人同士のコミュニケーションでは手話によるコミュニケーションですので、一人の相手のみを常に見ていないと連携が取れませんので、視覚からの情報量が極端に制限されます。聞こえる人同士のプレーとは、別の作戦が必要となります。

では、1人でやるテニスなどのスポーツはどうでしょうか。スポーツは、「目」で見る以上に、「音」で様々な情報を得ています。風の音や打球音、ラケットなどスポーツ用具の音など。

音の方向や強弱で次の動作に移りますから音は試合するうえでとても重要な情報源なのですが、視覚情報のみで試合を進める難しさは健常者には分かりません。

日本でデフリンピックが行われることで、聞こえる人と聞こえない人との間にある「目に見えない壁」が取り除かれ聞こえない人にとって、今よりも、もっと暮らしやすい社会になっていければ幸いです。

日本選手の活躍を大いに期待していますし、大会後には手話人口が増えることを望みます。

校区住民協 会長 山崎 徳次郎

令和7年4月度役員会

開催日時と場所：2025年3月1日（土）13時

議題

(1) 行政からの連絡事項

①避難行動要支援者の個別計画の件

首題の件に関する市の活動状況につき、4月以降の適当な時期に、防災安全課が住民協に出向いて説明する旨報告された。

②コミュニティ・スクールの件

配布資料②に基づいて、令和7年度からまず西部地区(久木中、久木小、小坪小を一括り)、に学校運営協議会を設置しコミュニティ・スクールを始める旨説明があった。

本件に関し下記のような意見があり、一部市の回答があった。

Q) 小学校、中学校を一緒に議論するのは大卒過ぎて、何を目的とするのか、議論のまとまりがつかないのではないか。

(2) 事務局からの報告事項

①総会について

総会日程を5月17日とし、それにむけての総会準備することが説明され、役員会で了承された。

(3) 審議事項

①地域防災事項の確認会議(2/15開催)レビュー
首題の会議の出席者から、下記のような意見が出された。

- ・避難訓練を俯瞰して確認できるようなしくみが必要だ。
- ・避難所の収容人数と災害関連死を防ぐ為の避難所整備の考え方に、行政と住民では差がありすぎて調整が必要である。
- ・防災には、先ずは「となり組」での助け合い気運の醸成が必要である。
- ・Web アンケートの回答数が少なく情報集約の母数にもならない。増やすには、行政がその情報をどのように役立てるのかを明示して、回答者に有効性を感じてもらう必要がある。
- ・課題の多いことが分かった。避難所準備委員会で1つ1つ解決にむけた議論をしていく必要がある。
- ・具体性がないので、課題がクローズアップされにくい。具体的な例として、災害時のトイレ問題につきシュミレーションした内容が説明された。

②逗子公共交通協議会 の立ち上げについて
2/20に第一回の逗子公共交通協議会が開催され、今後、市民・交通機関・警察など多方面からメン

00分～15時00分 久木会館 出席者：13名
(内役員9名)

かないのではないかと。

A) 学校毎の部会などの設置が必要かもしれない

Q) 個々の学校に特色があり、まずは地域に開かれた学校運営を目指して、学校毎にやるべきである。その後共通の課題などにつきまとめて議論すべきである。

Q) 小学校と中学校では対象としている児童が違うので、課題は自ずと違う。

A) 小学校と中学校のつなぎ部分の課題につき議論できる。

9年間でどのような子供にしたいのかを考えられる

Q) 久木と小坪では地域性にも違いがあり、一緒に議論する意味が分からない。

バーが集まって、3K(高齢者、子供、観光)に配慮した交通システムのあり方を2年に亘って検討してゆくことが説明された。

③来期体制について

a) 子供部会の件

拠点部会の企画部門として、イベント企画などを行うことを予定しているが、子供部会として実施している「みんなのカフェ」はその範疇の企画とし、子供部会は廃止する。尚、部会名については今後詰めていく。

b) ふれあい部会の件

地域福祉をテーマに活動してきたが、発展的に部会は廃止し、減災部会傘下のふれあい部門として、避難行動要支援者の支援方法・計画など、人のふれあいに関連した問題解決に取り組むものとする。

④住民協デジタル化/HP 開設等

住民協の活動の周知、また住民協や傘下の自治会のイベント情報の発信などをする為に、住民協のホームページを作成することが説明された。作成業務は外注することとし、デジタル推進課に業者推薦を依頼しており、またメンテナンスについては瓶子氏への依頼を予定している旨報告された。

⑤その他

a) 自治会意見交換会(2/15(土)開催)の件

市民協働課が実施した首題の会議の出席者から以下のような感想が述べられた。

- ・市の活動情報、他地区の自治会の情報を知るこ

とが難しいとの意見が出ていたが、住民協があれば、横ぐしを通すような役割が出来ると感じた。
・自治会役員の任期が1年という地区など、各地区温度差はあるものの、それぞれ頑張っている印象を受けた。

・住民協がない地区、またあるものの地域自治会との足並みが乱れている地区などみられるが、住民協導入時の機能の説明が分かりにくかったのも、その一因ではないかと感じた。ついては、住民協条例の発行が早期に必要だと感じた。

《レポート》 災害時のトイレ・震災技術展にて

鈴木 為之（山の根在住）

2月6・7日の両日、例年通りパシフィコ横浜展示場で、震災技術展が開催され、災害時役に立つ多数の資機材が展示されました。今回は身近な問題で最も重要とされる災害時のトイレについて、展示品の幾つかの資材を紹介しながら考えたいと思います。

トイレは大別して避難所等に行政が設置するマンホールトイレや仮設トイレと、市民も扱える簡易トイレや携帯トイレに大別されますが、ここで考えるのは後者のトイレです。

家庭でのトイレを考える場合、幾つかのケースが考えられるが、常設のトイレが使えるが（下水道の使用が不可能で）水が流せない場合と、備え付けのトイレ自体が使えない場合を例として考えてみます。

対策の基本は、排泄物を下水道に流すことができないから、適当な資材（吸水材）を使って液体を固化し、分離・保存・処理することです。前者の場合は、便器にポリ袋を二重にかぶせた上で用を足しそこに固化剤（吸水材）を入れて固化して、上側の袋を取り出し密閉してから保存・焼却処理をするのが普通に勧められている方法で、袋から固化剤迄をセットにした数多くの商品が販売されているし、また錠剤とした固化剤も市販されています。固化剤として日常使われているものを応用する場合は、吸水おむつやパットを使うことも出来ます。応用例として大人用の吸水パットでは、200CCの水を吸水（半固化）することができます。因みに大人の1回の尿の量は200～300CCといわれています。

展示例では、（株）エクセルシア（03-5431-7341）から錠剤型の固化剤が販売されており、又同社では「ほっ！トイレ」の名前で、プライバシーを保つポンチョを含めた災害時用のトイレを販売しているので参考になるでしょう。ホームセンターなどで色々な商品が販売されているので、非常時の必須の備品として、携帯バッグに入れておくことをお勧めします。

トイレが使用できない場合はどうするか。最も手近な方法は、庭がある家庭では、庭に1メートル程度の穴を掘って足場と囲いを作り、その中で用便後は、土をかぶせておく方法です。園芸用の2メートル程度の支柱4本とブルーシート1枚を供えておきます。

他の方法は簡易トイレ（便器）を使う方法。簡易トイレが市販されていますが、段ボールで便器を作ることにもできます。段ボールを材料として簡単に組み立てられる便器も市販されています。

展示例では、関西ペイント（株）（03-5711-8904、建設塗料統括部）の「抗菌・抗ウイルス段ボール製簡易トイレ」があります。段ボール製の特徴は、プラスチック製と違って畳めるので収納に場所を取らないこと、使用後の始末が容易なことが挙げられます。同社製の特徴は上記に加えて抗菌処理がされていることで、一連の副資材（袋や固化剤等）を含めてすぐに使える緊急トイレセットとして販売されています。

開設直後の避難所のトイレ問題について考えてみましょう。

避難者が集中する開設直後の混乱した避難所で、トイレの問題が最も深刻となります。

1000人の避難者の場合を考えてみましょう。内閣府が策定した「避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン」では、発災直後は50人に1個のトイレ（安定期は20人に1個）の確保を求めています。1000人の避難者の場合は、20個の個室トイレの準備が求められるが、発災直後に行政が主導する仮設トイレの設置は困難、施設にある既設のトイレの活用及び簡易トイレの設置で個室のトイレを用意せねばなりません。そして携帯トイレを使用して、排泄物を分離・保管・処理することが必要です。

排泄物の発生量はどの位か？ 避難所開設後、発災当日に避難者が2回の用便をしたとすれば、大凡800Lの排泄物が発生し、これはドラム缶で4本となります。翌日は2000L（ドラム缶で

10 本) の排泄物が発生します。いずれにしろ大量の排泄物が発生することは避けられません。

必要量の携帯トイレと簡易トイレの準備と共に、施設管理者とはトイレの使用の可否、使用できる数・場所・整備手順を、簡易トイレの設置場

所を、行政とは排泄物の迅速な処理を、事前に取り決めておく必要があります。

発災直後のトイレの整備は、住民が主導して住民が取り扱える携帯トイレ・簡易トイレが主役となることを心得ておきましょう。

《寄稿》 人とのつながりは今すぐにでも

2025.2. (校区住民協 監事) 細野 裕

横須賀市立K小の入り口の鉄の門は、保安上、歩いてきても車で来ても自分で開け、そして自分で締めます。車に乗ってくると車を急な坂に止めて開けに行きます。

ついこの前、門の前に車を止めて降りました。門の横に座ってスマホをいじっている工事の男性の方がいました。

「何されているんですか？」私の明るい声かけに

「いや、ちょっと検索していて」

「そうですか」

そんなやり取りをして車に戻るとその方が、

「閉めてときますよ」。

わお、なんとありがたいこと、笑顔で私、「ありがとうございます。助かります」ははっきりと答えました。親切をありがたく受けました。駐車場に入れて遠くの門のほうを見ると女性が自分で鉄の門を閉めていました。その工事の方はまだ座っていました。

つい昨日のことです。逗子市にこの4月から仕事をいただき、働くことになりました。この歳で仕事してくれと言われ感謝感激です。

近隣の施設にトップに連れられてあいさつ回り。

その一つの施設に行った時のことです。「この施設の館長です」と言われて紹介してくださった方が「わあ、細野さん！！」って、抱きつかんばかりに近寄って握手。

「いやいや、ご無沙汰です。10年になります。あの時は下っ端でしたが今は責任ある役割で」って早口で。私が思い出す前に、喜んでくださった。

「ああ、Tさん。大きくなってなんて失礼ですが、あの時は若僧でしたものねえ」私もしっかりと思い出して、固く握手しました。仕事、連携取りやすくなるよなあってづくづく思いました。

私はこの歳になってこういうことが良く起こります。天に感謝しています。縁を大切に繋がりをその時その時に大事にしてきたことが今の自分を支えてくれているように思えてなりません。

どうぞ今から、そんな人間関係を造り始めてください。幸せが付いてきますから。

編集後記

高齢化社会の進行・・・私は現役の頃より「NHKのラジオ深夜便」をつけたまま眠り、朝のラジオニュースを聞きながら起きる習慣となっている。ニュース解説者が、進む高齢化社会に関する説明をしていた。

日本の団塊世代人口が800万人、65歳以上の人口が20年前と比べて500万人増えて1,800万人だと云う。

奇しくも同じ日の朝、健康コーナでドクター曰く、病院に入院していた高齢者患者が退院する時に、以前は家族にその退院患者のケアをお願いしていたが、現在は家族に引き渡せず、家族にケアする者が居らず、病院に残りケアせざるを得ないケースが増えて、看護師はじめ人材が足りない状況となり始めているという。この様な事態に社会全体で、地域で何かをしなければいけない時期に来ているのかも知れない。

令和7年度総会の予告

日時：5月17日(土)

14時～16時

場所：久木会館

事務局長 石井 達郎